

平成27年度 山梨県学力把握調査 考察 【3年】

国語

〈伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〉

◎漢字を書くこと（合体）

▲正しい筆順でかくこと（上）

・漢字の筆順には、上から下、左から右など、基本的なきまりがあり、筆順をふまえて書くことで美しい字形の漢字を書くことができることを意識させるために、なぞり書きやそら書きなどの際に声に出させたり、誤りやすい文字を取り上げたりする。

〈書くこと〉

▲文の続き方に注意して、順序立てて書くこと

・学校生活や家庭生活において、児童が慣れ親しんでいる事物を選び、形状や様子、動きなどを簡単に文章に書く活動を取り入れる。そのときに取材した事柄の順序に沿いながら内容のまとまりごとにいくつかに分け、付箋やカードなどを使って構成を考えることで、自分の考えや伝えたいことを明確にすることが必要である。

・日常的に「まず」「次に」などの順序を表す言葉を意図的に使わせることで、事柄の順序に沿った簡単な文章構成や「はじめ・中・終わり」などの構成を意識させる。

〈読むこと〉

▲場面や人物の設定を正確に読み取る

・物語を演じたり、好きなどころを紹介したりするときに、物語を読んで豊かに想像がふくらんだ言葉や文、自分の思いや考えに強く影響した言葉や文を書き抜かせる。

算数

〈数と計算〉

▲繰り下がりのある引き算（127-37）

・繰り下がりがない引き算はできるが、繰り下がりのある引き算の習熟に課題がある。図や操作と関連づけながら十進位取りについて再学習し筆算の仕組みをとらえさせることが大切である。また、確かめをさせる習慣をつけることで理解を確かなものにさせる。

〈図形〉

◎図形を構成している色板の枚数を求めること

・色板を並べていろいろな図形を作る活動を通して、図形に関する感覚が育っている。

〈数量関係〉

▲ものの数の求め方を読み取り、乗法の式に表すこと

・他の人に分かりやすく説明することを意識させ、図に線や数を書き入れ、考え方が視覚的に分かるように表現する活動が重要である。また、友だちの図や式を見て、どんな計算の工夫をしているのかを説明する活動を取り入れ、式の意味を理解する力を育てることが大切である。言語活動の充実を図り、図や式、言葉を使って自分の考えを伝え合う学習を計画的に取り入れる。

平成27年度 山梨県学力把握調査 考察 【5年】

国語

〈伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〉

▲修飾と被修飾の関係を捉えること ▲指示語が指し示す言葉を正しくとらえること

- ・読むことや書くことの学習において、線や矢印を用いて対応する関係を視覚的に捉えたり、語順を入れ替えて照応を確かめたりする活動を取り入れる。
- ・文脈に即して、指示語が指し示している事柄を具体的な言葉に置き換えて確認したり、指示語が指し示す事柄や、分野段落の連結を意識して指示語を使ったりする学習活動を取り入れる。

〈話すこと・聞くこと〉

▲話し合いの大事な点に注目して意見を聞くこと

- ・話し合い活動において、参加者全員が目的意識を持って話し合いに参加させる。

〈書くこと〉 ◎目的に応じたメモを取捨選択すること

- ・相手や目的に応じているか、自分の考えを明確に記述しているか表現に注意させる。
- ・下書きと推敲後の文章を比べるなどの工夫をすることで、書いた文章を読み返すことの大切さを指導する。

〈読むこと〉

▲目的に応じて文章を読み、中心となる語や文、必要な情報を捉えること

- ・読む目的によって、中心となる語や文は変わるため、目的を明確にした上で中心となる語や文を的確にとらえることが重要。指示語や接続語、文末表現に注意させる。

算数

〈数と計算〉 ◎数直線を読み取り、目盛りを分数で表す

〈量と測定〉 ▲条件をもとに図書館に着く時刻を求め、示された時刻に間に合わない理由を説明する

- ・判断の理由を説明する場面を意図的に設定し、他者の説明と比較しながら、自分の説明が理由として十分か、必要な事柄がすべて含まれているかを確認したり、正答と不足のある解答を比べ、足りないことを説明したりする活動を取り入れる。

〈図形〉 ▲円と半径の意味を理解し、半径の三分の長さを求めること

- ・一つの円には半径や直径が無数に存在することを確認する。中心点から等距離にある点をつないで円をかいたり、半径や直径の長さを実際に測ったりする操作活動を積極的に行い、円の概念や性質、直径と半径の関係を体験的に理解させる。

〈数量関係〉 ▲数量の関係を表している図を読み取り、問題意識を判断すること

▲数量関係を表している図を読み取り、情報の式に表すこと

- ・数直線や線分図を用いて、立志期の根拠や計算の仕方を考え説明する活動を取り入れ、数直線や線分図を根拠に、自分の考えを数学的に表現し、友だちの表現と比較検討しながら、よりよい考えやより分かりやすい考えに高め合う場面を設定する。

